

サステナビリティ重点課題 進捗・実績 (2025年5月現在)

※ 会社略称表記
 SH: サッポロホールディングス、SB: サッポロビール、PS: ポッカサッポロ、
 SRE: サッポロ不動産開発、SLN: サッポロライオン、SGF: サッポログループ食品、
 SBL: スリーマン、SUSA: サッポロUSA、SVL: サッポロベトナム、PK: ポッカ、YSM: ヤスマ、
 FBS: フォーモストブルーシール

※ SBT 認定済

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2024年実績
環境との調和	●	脱炭素社会の実現	自社拠点・サプライチェーンにおける温室効果ガス排出削減	・温室効果ガス排出削減量	サッポログループ	2030年	・スコープ1,2 温室効果ガス排出量を2022年比で42%削減	【2024年実績】 ・167.7千t (2022年比88.6% 11.4%削減)
							・スコープ3 温室効果ガス排出量を2022年比で25%削減	【2024年実績】 ・集計中
							・FLAGスコープ1,3 温室効果ガス排出量を2022年比で31%削減	【2024年実績】 ・集計中
		循環型社会の実現	・循環型社会に対応した容器包装の実現 ・プラ資源のリデュース・リサイクル	・PETボトル製品 再生材利用率	SB	2030年	・国内製造ワインPET 再生材利用率50%	【2024年実績】 ・再生材利用率52.5% ※2024年をもって国内製造のPETボトル入りワイン販売を終了
					PS	2030年	・国内販売PET製品 再生材利用率50%	【2024年実績】 ・再生材利用率 10.8%
				・広告品類プラスチック削減量	SB	2030年	・化石燃料由来のフウェイプラスチック製広告品類 国内原則廃止	【2024年実績】 ・集計中
					SLN	2024年	・食品再生化等実施率50%	【2023年度 (2023.4~2024.3) 実績】 ・50.6%
				廃棄物・食品ロス削減	SB,PS		・国内生産拠点における廃棄物再資源化率100%	【2023年度 (2023.4~2024.3) 実績】 ・100%
					SB,PS	2030年	・国内生産拠点における水使用量10%削減 (2013年比)	【2024年実績】 ・グループ (SB+PS) : 21.0%減
	水資源の保全	SB,SBL,SUSA,SVL,PK,YSM		・1回/3年以内による全生産拠点等の水リスクを調査 ・水の効率的な使用	【2024年実績】 ・全生産拠点等の水リスクを調査実施 ・排水は全ての生産拠点で法令違反 (罰則適用) ゼロ ・飲料水・トイレに関して海外全拠点で問題ないことを確認			
SB		2030年	・気候変動対応可能な特性を持つ大麦・ホップの国内品種登録出願	【2024年実績】 (大麦) ・赤かび抵抗性品種候補を北海道の公的評価試験に供試 ・穂芽耐性に関する育種材料を北海道、カナダに供試 ・赤かび病抵抗性の簡易検定法についてカナダ国際学会で発表 (ホップ) ・うどんこ病抵抗性品種候補の品種登録用調査 (1年目) 実施 ・うどんこ病抵抗性についてゲノム解析を実施中				
社会との共栄	●	地域との共栄	・地域の価値向上 ・自社リソースを活用した地域課題解決	・エリアブランド価値向上に資する持続可能なまちづくりの進捗	SRE		・保有物件価値向上と賑わいの創出 ・物件エリアのステークホルダーとのコミュニティ形成・強化・拡大 ・進にでも優しい施設づくり	【2024年実績】 ・年間イベント実施数: 59件 (恵比寿48件、札幌11件)
				・「地域創生事業」の進捗	SB		・自治体と連携した持続可能な地域創出として、食材商談会における地域の食材サプライヤーと企業のマッチング等を実施 ・商談会における自治体、サプライヤー、バイヤー満足度75.0%以上	【2024年実績】 ・マッチング件数: 全524商談 (前年344商談) ・関係者アンケート満足度80% ・商談成約率30%
				・日本のレモン生産の環境構築の進捗	PS		◆長期 ・日本のレモン栽培の豊かな土地と恵みを、未来の人々と地域に受け継ぐ ◆短期 ・毎年最低でも農地の最小単位である2,000㎡を増やす ・自社だけでなくパートナーとともに、栽培耕地の拡大 ・後継不在の農地引き継ぎ、耕作放棄地の再生等の実施	【2024年度実績】 ・耕作放棄地の整備 (2,000㎡) と新規就農者への引き渡し ・新たな農家との契約化
				・食品飲料事業に関する地域における学習プログラム (食育、出前授業、工場見学等) の実施件数	PS,SGF	2030年	・2021年比で10倍 (400件規模)	【2024年度実績】 ・302件(2021年比で8.2倍)
		健康価値の提供	事業を通じた健康価値の提供	「ポッカレモン」ブランド集計 [年間購入率 (%)・年間購入数 (購入者あたりの本数)]	PS	2030年	・レモンが持つ健康機能の発信や用途・シートの提案を通じて、レモンの総需要を拡大することで人々のWell-Beingに貢献する	【2024年度実績】 ・①年間購入率: 14.76% ・②年間購入数: 1.90 (購入者あたりの本数)
				・お客様の健康に焦点を当てた商品の展開状況	PK	2030年	・健康に焦点を当てた新商品の開発と市場浸透を進め、売上構成比10%を目指す (POKKA製品に限る)	【2024年実績】 ・2.3% (シンガポール国内限定/Singapore only)
				・健康価値提供に資する保有物件の認証取得状況	SRE		・健康価値提供に資する保有物件の認証取得	【2024年実績】 ・取得数: 2件 ①恵比寿ガーデンプレイス センタープラザ (オフィス) にて、CASBEE-ウェルネスオフィス評価認証 Sランク取得 ※プラス社との共同申請 ②恵比寿ガーデンプレイス サッポロ広場にて、環境省「自然共生サイト」認定
		持続可能なサプライチェーン構築	・サプライチェーンにおける人権尊重 ・サプライチェーンにおける環境負荷低減 ・安定調達	・サステナビリティ調達ガイドラインの遵守率	SB,SBL,SUSA,SVL,PK,YSM,FBS,SLN		・「調達基本方針」及び「サステナビリティ調達ガイドライン」の働きかけ及び浸透策の実施。	【2024年実績】 ・各社主要調達先への働きかけに取組み、対象サプライヤーを順次拡大中 ・調達基本方針、サステナビリティ調達ガイドラインの理解促進、同意書取得。 ・サステナビリティ調達アンケートを実施。
					SB,PS		・主要調達先のサステナビリティ調達ガイドライン 遵守率100%	【2024年実績】 ・遵守率100%
				・人権DDプロセスの進行状況	SB,SBL,SUSA,SVL,PK,YSM,FBS,SLN		・サプライチェーンの人権尊重を確認できるスキーム (注) の確立・実行。 (主要原料と高リスク原料から優先実施) ※①各原料に関するサプライチェーンの一覧化 ②アンケート等による日常活動確認 ③必要に応じた状況調査等 ④必要に応じた是正の確認	【2024年実績】 ・各社主要原料、高リスク原料についてサプライチェーンの一覧化とサステナビリティ調達アンケートを継続実施。 ・②についてはSedexへの加入・回答等を活用した人権DDを実施中
SB,PS					2025年	・主要原料および高リスク原料について、人権尊重された調達になっていることの確認を実施	【2024年実績】 ・「サステナビリティ調達アンケート」により、主要調達先の取り組みを確認した。 ・現状問題となる事象は確認していない。 ※アンケート対象を2次サプライヤー以降へ拡大中。	
			SRE		・不動産事業におけるバリューチェーン人権尊重に関する実態把握	【2024年実績】 ・グループと連携した取り組みを継続		

区分	最注力	重点課題	具体的取り組み	指標	目標設定会社	目標年	目標	2024年上期までの実績	
人財の活躍	●	多様な人財の活躍	ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の推進	多様な価値観、新しい働き方に合わせた制度・環境の整備状況	SH,SB,PS,SRE,SLN	2026年	・ワークエンゲージメント(※) 54以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標<偏差値>	【2024年調査結果】 ・ワークエンゲージメント 54 (目標の54以上を前年に引き続き達成)	
					SBL		・DE&I研修を受けた従業員の割合 100% ・コンシャス・インクルージョン研修を受講した雇用リーダーの割合:100%	【2024年実績】 ・当社従業員の85%がこのトレーニングを修了。 ・2024年に2回のセッションを実施し、従業員によるトレーニングを提供できるように体制構築 【2024年実績】 ・雇用リーダーの86%に実施。	
					SVL		・DE&I理解度 6.0点(※) ・経営陣の中のローカル社員人数 2名	【2024年実績】 ・6.13点 【2024年実績】 ・1名	
					PK		・組織文化調査 6.00点(※) ※SVL社実施の「組織文化調査」による指標(7点満点中)。 ・エンゲージメント(※) 80% ※PK社実施の「従業員調査」による指標(ハンチマーク76%)。	【2024年実績】 ・6.2点 【2024年実績】 ・77%	
					SH,SB,PS,SRE,SLN		2026年	・女性取締役比率12%以上、女性管理職比率12%以上	【2024年実績】 ※2024年12月末現在 ・女性取締役比率15.2% (SH単体18.2%) ・女性管理職比率 7.2%
					SH			・女性取締役比率30%以上	
					SH,SB,PS,SRE,SLN			・女性管理職比率20%以上	
					SH,SB,PS,SRE,SLN		2026年	・統合調査「未来価値創造に向けた挑戦」(※)3.0以上 ※ストレスチェック・従業員意識調査によるサポログループ独自の調査指標 <1.0~4.0で数値化>。	【2024年調査結果】 ・2.7
					SH,SB,PS,SRE,SLN			・積極投資による人財育成(経営人財/グローバル中核人財/DX・IT基幹人財)の進捗状況	【2024年実績】 ・事業会社にて経営人財育成会議、全社経営人財連絡会議を実施、計画的に経営人財の育成を推進 【2024年実績】 ・グローバル中核人財:常時100名以上プールしている 【2024年実績】 ・DX・IT基幹人財:200名育成完了
					SH,SB,PS,SRE,SLN			・心身の健康の良化による生産性向上の度合い	【2024年調査結果】 ・プレゼンティーズム損失率(※) 33.4%以下 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標
SH,SB,PS,SRE,SLN	・プレゼンティーズム損失率(※) 33.4%以下 ※ストレスチェック・従業員意識調査による指標	【2024年調査結果】 ・プレゼンティーズム損失率 33.9% (目標33.4%以下未達)							
責任ある飲酒の推進		適正飲酒の啓発	・純アルコール量のラベル表示進捗	SB	2025年	・国産・国内販売の缶入りアルコール飲料、微アルコール飲料容器へ1本当たりの純アルコール量(g)を表示実施率100%	【2024年実績】 ・100%		
			・e-learning等による適正飲酒に関する啓発の社員受講率	SB,SLN		・国内全従業員へのe-learning等による啓発(1回/年以上)100%参加	【2024年実績】 ・グループ全社e-learning参加率99.5%		
			・飲食店におけるアルコールの誤飲発生件数	SLN		・0件	【2024年実績】 ・店舗におけるアルコール誤飲発生件数 0件		
			・飲食店メニュー・POP類へ20歳未満飲酒防止メッセージの表示率	SLN		・100%	【2024年実績】 ・「お酒は楽しく適量で」の啓発マークを全店ドリンクメニューに表示。アルコール専用グラス、マドラーの使用の徹底、誤飲防止の啓発活動を実施		
安全な製品・施設の提供		食品安全	SB,SBL,SUSA,SVL,PS,PK,FBS,SLN		・食品安全保証体制への、お客様をはじめとしたステークホルダー(社内外を含む)の声の反映。 ・重篤な食品事故の発生抑制	【2024年実績】 <食品安全保証体制へのステークホルダーの声の反映事例> SB:「極ZERO」の容器・包装に「お酒」表記の追加(ノンアルコール商品との誤認防止) PS:「ホッカレモン100」瓶キャップの外し方動画の公開 <重篤な食品事故> SLN 1店舗で牡蠣由来のノロウイルスによる食中毒が発生、3日間営業停止した案件が1件発生した。			
		安全な施設づくり	SRE		・保有物件における適切な非常用電源の確保 ・保有物件における耐震性能の確実な確保 ・有事対応計画に関する定期的な見直しと訓練の遂行	【2024年実績】 ・防災訓練実施(年2回) ・自衛消防訓練実施			